

吉田こども園(益田市)

【保育園DATA】

- 所在地: 益田市水分町7-50
- 法人名: 社会福祉法人ほほえみ福祉会
- 定員: 96名
※平成29年9月8日時点で
在籍数107名
- 職員構成(保育士)
 - ・正規職員 13名
 - ・臨時職員 0名
 - ・パート職員 9名
 - ・保育助手 5名
- 法人内他施設
 - ・益田市病児病後児保育室
ぞうさんのせなか(定員 6名)



○ 渡辺理絵 園長が大切にしていること

“ワークライフバランス”
～どちらも充実させる～

☆ 渡辺 理絵 園長略歴 ☆

- ・ 県外の保育園で5年間勤務した後、地元である益田市にUターン。
- ・ 吉田保育所の民営化を機に社会福祉法人「ほほえみ福祉会」に入職。
- ・ 平成28年4月から園長に就任。現在に至る。

保育士がいきいきと働ける環境を整備するために

○一人ひとりが安心して意欲的に働く事のできる職場環境の実現に向けて

当園では「しまね女性の活躍応援企業」として①モチベーションアップ、②エンジョイライフの2つの目標を掲げ、管理職の増員や資格取得支援、家庭との両立支援など一人ひとりが安心して意欲的に働く事のできる職場づくりに向けた取り組みを進めています。

背景には、今までの「仕事は仕事」「家庭は家庭」というスタンスでは、特に仕事と生活を切り離せない女性にとって、どちらにもしんどさを感じてしまう状況や悩みがあり、仕事と家庭どちらもうまく調和する事で、双方に楽しさを見いだせるような職場にしたいとの思いがありました。

職場内には様々な世代や家庭状況の職員が働いています。皆にとって働きやすい職場環境を整えていくために、子育て中や孫育て中、シングルマザーなどの様々な状況の職員でチームを発足させ、話し合っています。今後も働きやすい職場づくりの実現に向けて職員皆で一緒に考えていきたいと考えています。

○多様な働き方の推進でワークライフバランスを保つ

ライフステージによって変化する仕事と家庭のバランスにも、辞めることなくスキルアップしてもらうために、育休明けの時短勤務やシフト勤務の軽減を始め柔軟な働き方の受入を行っています。その1つの例として、育児とのバランスを保つため、職員の希望に基づき正規職員を一定期間パート職員に移行し、育児が落ち着けば再度正規に登用するといったケースもあります。

また、モチベーションアップのための資格取得支援では、保育士や幼稚園教諭、子育て支援員など資格取得に係る費用や旅費は、助成金を活用し法人が負担するとともに受講日や受験日は勤務日として扱い、休日の保障にも配慮しています。

吉田こども園での取り組み紹介①「エルダー制度」

当園では今年度から新人職員の定着ためにエルダー制度（*）を導入しており、4月から新人職員に対し、少し年上のお姉さんの存在の職員をエルダーとして選任し、定期的に2人でゆっくり話す時間を確保しています。

新人職員にとっては、質問をするにも勇気がいるし、周囲が声掛けを意識的にしていても足りないことがあります。エルダーは新人職員と2人でお茶を飲みながら雑談など何気ない話をするなかで、不安な気持ちを受け止めたり、分からない事を誰に聞けばよいかということも伝えていきます。研修会に参加した際には、同期のいない新人職員にエルダーが自然と寄り添って座ってくれていました。

同様に、途中で採用したパート職員2名に対しても、それぞれ年齢の近いエルダーを選任し、2人でお茶をしながらゆっくり話す時間を確保しています。

周りの職員は「自分たちもそういう制度が欲しかった」とこの制度を理解し、2人で話す時間の確保や、新任職員の存在を気に掛けるなど協力してくれています。

これまでも指導者制は取り入れていましたが、指導と精神的なサポートは別物であると感じ、この制度を取り入れる事により、指導については指導者が、精神的なサポートはエルダーというように役割を分けて新人職員のサポートに取り組んでいます。

*エルダー制度＝新人職員が早く職場や仕事に慣れることができるよう、新人職員に先輩職員（エルダー）が寄り添い様々な悩みなどを気軽に相談できる精神面でのサポートをする制度

吉田こども園での取り組み紹介②「配置の工夫で譲り合い協力しあえる職場に」

当園には、子育て中や家族介護中の者、資格取得を目指す者や独身者など、年齢も家庭背景もさまざまな職員が働いています。子どもの行事や介護サービスの利用状況、孫が産まれる際のサポートなど、一人一人職員の事情をできるだけ大切にできるように、なるべく背景が重ならず、協力体制が取りやすいように職員配置を工夫しています。

また、当園では60歳を過ぎた5名のベテラン保育士が、さまざまな経験を若手に伝えるアドバイザーとして活躍してくれており、その配置も重ならないように配慮をしています。

☆職員の声☆



澄川 文乃 先生

- ・ 保育士歴：14年
- ・ 3歳児を担当
- ・ 4歳の子育て中

吉田保育所（現：吉田こども園）が開所する年に新卒で入職しました。14年目となりますが、様々な年齢のクラスを担当し、子ども達の成長を通じて、1年1年自分自身も成長することができる大切な日々を過ごしていると感じています。

こども園では、他の子の成長と助け合う姿を見ることができます。大きい子の優しさや、ぶつかることがあっても解決しようとする力、大きい子を見て学ぶ小さい子の姿など、子ども達の成長を側で見つめる事ができるのが保育士の「楽しさ」や「やりがい」だと思います。



岡山 菜々実 先生

- ・ 保育士歴：5年
- ・ 5歳児を担当
- ・ 今年度エルダー担当

保育士になろうと思ったのは、保育士として働く母の存在が大きいです。この園には、高校の保育体験や短大の実習を通じて入職しました。

5年目を迎え、子ども達の成長が近くで見られることに「やりがい」を感じ、大人では気づけない子どもならではの発見と一緒に楽しんでいます。

今年度は新人職員のエルダーを担当しています。園で初めて導入した事もあり手探りではありますが、目標としては、先輩というよりは「気軽に話せるちょっと年上の友達」のような存在になれたらと思います。

♪ 保育っていいな ♪ ～日々の1コマより～



「ご飯、ま〜だかな？」



「食べたくなっちゃう程かわいいね…」



「僕たちの神楽小屋」